

社 報



フォービルにて再出発！

社報発行・・・！

一昨年8月より社報の発行を中止しておりました。はっきり言って社報どころではなかったというのが実情でしたが、おかげでフォービルも軌道に乗りつつあり、社報を発行することにしました。発行番号は127号としたいですが新たな出発ですので1号としました。

フォービルでは職長会や安全大会を実施するより、こうした社報を発行し、様々な情報を皆で共有した方が、時間的な効率や記録という点からも効果的であると考えます。

新会社、「フォービル」をどう創っていくか、皆の魂をどう反映させていくか、皆さんと共に真剣に悩む必要があります。

誉められました

グラントピア上町台の現場に清水建設のパトロールがあり、その席で当社の片付け非常に行き届いているとことで、解体工の職長、原田さん（栄和建设）が大変誉められました。ありがたいことです。こういう評価を積み重ねが会社の評価となるのですから。感謝！感謝！

皆様にはいろいろとご心配をお掛けし、また、様々な面でご協力いただきましたこと厚く御礼と感謝を申し上げます。森本工務店廃業の報にはさぞかし驚かれたことと思いますが、社員が生き残りを掛けて創った会社フォービルも、苦しいスタートを切りましたが、なんとか業務も軌道に乗りつつあるところです。重ね重ね皆様のご支援とご協力に感謝を申し上げます。

また、お得意様を始め、資材業者さんや外注業者さんにも大変お世話になりましたこと、ありがたく感謝と御礼を申し上げます。

そして、新生フォービルがまず第一に宣言しなければならぬことは、「会社をつぶしてはならない。」ということです。会社には多くの人に関わりを持ち、生活の基盤としています。その会社がなくなることは生活が崩壊することを意味します。ですから、いち早くフォービルをつぶれない体質にしなければなりません。これを当面の目標とし、その手段として、「借金をしない」ことを第一において、無借金経営を貫くことを宣言いたします。また、社屋の大きさや見栄などにこだわることなく、「本業で利益を確実に出す。」ことも最も大切なことです。

そして、「不急不要の物は買わない」「物を大切にす。」「小さな出費を惜しむ。」「小さいことにこだわ。」「

時間を大切にす。」「アイデアを出し、実現のために行動する。」「すすんで自ら変化する。」「信念にこだわり貫く。」「こうした考えを重視して、森本工務店時代とは違った、「フォービルの世界」を築いていこうと思いません。

しかし、「フォービル」をどう創っていくかはまだまだこれからの課題です。じつは、世の中につぶれない会社などはあり得ないのです。つぶれない会社とは、倒産の危機を感じながら、わき目もふらずに努力・精進している会社こそがつぶれない会社なのかもしれませんが、そうあり続けることは大変に難しいことなのです。

私たちは、森本工務店の廃業を糧として、森本工務店以上の会社を今から創るのです。会社規模とか社屋とか看板とか業暦とか、そんなものではありません。本当の仕事っぷりで、現場の仕事の内容で、ダントツの会社を目指すのです。

それを実現することは並大抵ではありません。大勢の努力をたった一人がぶち壊すこともあるかもしれません。障害を乗り越えて努力し続けてこそ、手に入れられる大切なもの、これを手に入れるのです。その道のりは長くもあり短くもあり、私達の思い次第です。

今年の安全方針「整理整頓」

整理整頓を徹底することは、安全に関わらず、すべての基本です。目に見える「モノ」は、目にみない「時間」や難しい感情を持つ「人」に比べると、はるかに管理しやすいと言えるからです。

その「モノ」の管理ができないで、時間や人の管理は出来るはずがありません。現実には、当社の現場でも整理整頓が出来ていない現場があります。しかし、そういう現場で働いている人が、仕事が遅いとか、腕が悪い、とかではないのです。現場でもっと整理整頓をするように言うと、「こんなもんです」

「片付てると思いますが」「場所がない」「工程がない」など、いろんな理由が返ってきます。もちろんそうした条件は理解できるのですが、では、整理整頓の基準は何か、を問うと返答できない場合がほとんどでしょう。

片付いている現場では皆が整理整頓の基準を持っています。「ここまでやらねば」「ここまでやって当たり前」という具合です。

もし、「現場には釘の1本も落とすな！」という、整理整頓の基準を決め、皆でやるうと意思を統一したら出来ないはずはないでしょう。では、なぜやるうとしないのでしょうか。（続く）

安全成績（1年め）

現場災害	H16.1.1-H16.2.29
重大災害	-----0
休業災害	-----0
不休災害	-----0
物損災害	-----0
その他	-----0
合計	---0
交通災害	H16.1.1H16.2.29
人身災害	-----0
物損災害	-----0
合計	---0